

平成30年度事業報告

社会福祉法人 シルヴァーウィング

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

1 はじめに

平成 22 年 4 月開設以来、みさよはうす土支田は、10 年目を迎えました。ご利用者一人ひとりの個性を大切に、小規模施設ならではの、きめ細やかなサービスをモットーに取り組んで参りました。地域に開かれた、地域の方に愛される特別養護老人ホームとして順調に推移致しているところです。

平成 30 年度におきましては、施設全体の稼働率は、利用者のニーズに的確に応える努力をしましたが、年間を通じ 98.83%（別表 7）となっています。

30 年度については利用者みな様に、更なる高品質で付加価値の高い施設の運営を行い、真っ先に選んで頂ける練馬で一番の施設を目指してまいります。

2 事業実績について

特養は定員 30 名に対し、年平均入所者実人員は 29.6 人あった。30 年度の新規入所者は 4 名、退所者は 5 人であった（表 1）。また、平均年齢は、男性 91.11 歳 女性 88.87 歳、全体で 89.01 歳であり、要介護度の平均は、男性 5.0、女性 4.2、全体で 4.2 となっている。入所者の高齢化、重度化の傾向が見て取れる（別表 1～3）。

《表 1》

特養退所者の状況

No.	性別	年齢（退所時）	退所月日	退所後の居所
1	女	80 歳	平成 30 年 4 月 12 日	医療機関
2	女	88 歳	平成 30 年 8 月 20 日	医療機関
3	女	91 歳	平成 30 年 8 月 25 日	家庭
4	男	94 歳	平成 30 年 12 月 15 日	死亡（施設・医療機関）
5	女	82 歳	平成 31 年 1 月 24 日	家庭

3 サービス内容について

(1) 食事介助

入所者の食事摂取状況に応じて、食事の見守り、食事介助を行い、誤嚥や嚥下状態の低下傾向のある入所者については、適切な食形態の検討を行い、経口摂取の維持に努めた。なお、平成 30 年末現在、食事介助を必要とする人が 9 名、食事形態別では、常食 7 名、一口大 2 名、きざみ食 10 名、ごくきざみ食 4 名、ミキサー食 6 名、遺漏 1 人となっている。

また、体調等を考慮し、居室配膳や居室での喫食を実施した。

(2) 入浴介助

入所者の身体状態に合わせ、平成 30 年度末現在、特浴(11 名)、チェア浴(13 名)、一般浴(6 名)の 3 機種の中からより安全な入浴方法を選び、週 3 回の入浴を実施した。ちなみに、ショート・ステイ(S.S.)の方でも、2 名枠で同様に 3 機種で実施した。

(3) 排泄介助

おむつ交換は、1 日 6 回の定時交換(1 時、5 時、9 時、13 時、16 時および 20 時)のほか、随時の個別確認、及びナースコールによる要請により実施した。

(4) 栄養管理

特養入所者については、次の栄養ケアマネジメントを実施した。

- ①毎食後の食事摂取量の記録
- ②月 1 回の体重測定(新規入所者は入所時)
- ③健康状態の把握
- ④褥瘡の状態の把握(アルブミン値などから体内の栄養状態を把握し、必要なケアを行なう。)
- ⑤食事形態、食事の変更等の記録
- ⑥必要栄養量・水分・たんぱく質量の算定、充足率を把握

(5) 健康管理

嘱託医による週 1 回の内科往診および月 2 回の精神科の往診があり、通院治療が必要な場合は、家族の協力等により受診し、入所者 1 人ひとりが、心身共に健康で充実した日常生活を送れるよう健康管理を行った。

今期も、9 月に健康診断を実施。10 月から 11 月にかけて、家族の承諾によりインフルエンザ予防接種を実施。生活の場における保湿、室温管理、脱水予防などを徹底した。一方、職員のうちが、手洗い、マスクの着用を早期に励行し予防を徹底した。

尚、当施設は、機能強化型在宅療養支援診療所と提携している。(これは、訪問診療に従事する常勤医師が複数名おり、厚生労働省で決められた厳しい実績を有し、365 日×24 時間、連絡がつく体制のクリニックのことを言う。)

(6) 機能訓練

①常勤の機能訓練指導員を中心に、看護師、介護職、理学療法士(非常勤)および言語聴覚士(非常勤)等が連携し、身体、嚥下、言語等の機能面においてより充実したリハビリを実施した。

特に、理学療法士(非常勤)は、個別機能訓練計画書に基づき、現在の身体の様子を確認しながらリハビリを行い、計画の変更があれば、介護職にもポイントを指導した。併せて、車イスやベッドでのポジショニングについても、指導した。また、言語聴覚士(非常勤)は、個別に話す、聞く、食べることについて指導し、集団で口腔体操により誤嚥予防のリハビリを実施した。

②提携外部の歯科医師による口腔ケアを週 1 回実施した。尚、歯科に関しては、必

要時にご家族了解のもと、治療も実施した。

(7) レクリエーション

2～3ヶ月に1回の誕生会、その他、カラオケ（童謡、懐メロ）、公園への散歩、お化粧品、お茶会、ボーリング、風船バレー、棒体操、ぬり絵、折り紙、映画鑑賞など、入浴日を除く毎日、職員が中心となり、実施した。

《表2》

年間行事・・・こども食堂とそろばん教室は毎月開催。

4月	近隣のさくら見と散歩会。
5月	介護ロボット紹介実演会。Ex.) パルロ、ロボホンなど。(13名参加)
6月	オカリナりぼんによるオカリナ演奏会が開催されました。(演奏者 5名、参加者 17名) (ボランティアによるレクリエーション)
7月	7月7日 七夕祭り開催(近隣の中学生も入れて18名参加)
8月	隣の公園にて盆踊り会を開催・鑑賞(14名参加、2F、3Fのベランダからも鑑賞され、思わず笑顔でいっぱい。)
9月	納涼祭開催される。スイカ割りやノンアルコールビールで、乾杯!(24名参加)
10月	健康吹き矢の座学会と実習の実施。施設長「百歳まで生きます」宣言。
11月	女優・山吹恭子ショー開催さる(22名参加)。子ども神輿見学会開催。(18名参加)。ハロインでかぼちゃの仮装で楽しめる(11名参加)。 (ボランティアによるレクリエーション)
12月	練馬交響楽団がやってくる!(19名参加)。12月24日 クリスマス会(16名参加)。 (ボランティアによるレクリエーション)
1月	マジック・ショーで楽しめる。職員による獅子舞も、各フロアを回りながら行い、利用者の方々から、喝采を浴びました。一年無病息災を祈って利用者の頭を噛むと、合唱されたりして大変喜ばれました。森進一さんのモノマネは大好評でした。(24名参加)
2月	節分の豆まき 鬼役は、鬼の面を被ったスタッフが行ない、投げた豆を避けるのに逃げ回ったりして盛り上がった。(21名参加)
3月	桜見ドライブ・レクの実施。(延べ23名参加。光が丘公園、白子川周辺等)。入居者様からは、満開の桜を觀賞し、「わあー」という叫び声も何度も聞かれました。



●女優・演歌歌手の山吹恭子さんが今年も連続でショーを開催（写真：上・下）



●クリスマス会とお誕生日会とを兼ねて開催（プレゼント贈呈・写真上）



●ものまね演芸会（森進一さん？写真下）



4 家族等との連絡調整等

小規模な施設の特性を活かし、来所された際には、個別にご家族に利用者の現況を伝え、情報共有に努めた。また、来所のあまりないご家族には、季節の節目には、連絡を入れ、現況を伝えるようにした。

・ご面会者数 延べ2,203人（1日平均6.03人）

5 各種委員会等

下表の委員会等を定期的で開催し、利用者のケア等について検討した。

《表3》

委員会名	内 容
①栄養委員会	利用者の栄養ケアに関すること
②感染症対策委員会	施設内外の環境衛生、感染症の予防等に関し、ノロウイルス、インフルエンザ、手洗いうがいの励

	行について。
③褥瘡対策委員会	褥瘡の予防、処置等に関し、おむつ交換、体位交換、皮膚の洗浄の必要性について
④身体拘束廃止委員会	利用者の身体拘束に関する基準、説明と同意に関することについて
⑤事故防止委員会	利用者等にかかる事故の防止に関することについて
⑥防災・安全対策委員会	防火・災害防止及び災害時の対応等に関すること。
⑦リハビリ委員会	個別機能訓練等の検討等に関すること
⑧レクリエーション委員会	利用者のレクリエーションの計画・実施等に関すること
⑨ボランティア活用推進委員会	ボランティアの活用、登録等に関すること
⑩入所判定委員会	入所者の選定に関すること
⑪職員会議	施設全般の運営・管理等に関すること、情報伝達等
⑫安全衛生委員会	職員の労働環境、健康管理の確保等
⑬研修委員会	全職員の知識・技術の向上等のための研修に関すること

6 職員研修

集合研修を実施することが困難なシフト制職場であるため、同一内容を伝達研修やDVD研修を活用する等の工夫を行った。

《表4》

No.	名称	開催月	人数	備考
1	国際福祉健康産業展	平成30年5月	1名	職場内研修
2	HAL 装着操作研修	平成30年6月	1名	法人研修
3	介護福祉士実務者研修	平成30年7月 ～12月	1名	三幸福社カレッジ
4	介護保険施設・事業所 における目標管理	平成30年7月	2名	職場内研修
5	職場環境作り講習会 (腰痛予防対策)	平成30年8月	1名	練馬区介護保険課
6	高齢者虐待、身体拘束 ゼロ、認知症高齢者の 理解、成年後見制度	平成30年10月	5名	職場内研修
7	記録の書き方	平成30年9月	4名	法人研修
8	介護事故予防研修	平成30年11月	6名	職場内研修

9	褥瘡予防、活動への参加におけるポジショニングを考える	平成 30 年 12 月	1 名	法人研修
10	感染症対策研修 1	平成 31 年 1 月	5 名	職場内研修
11	介護事故予防研修	平成 31 年 2 月	5 名	職場内研修
12	消火器・AED 操作研修	平成 31 年 2 月	7 名	職場内研修
13	高齢者虐待防止、身体拘束ゼロへの取組み	平成 31 年 3 月	5 名	職場内研修
14	感染症対策研修 2	平成 31 年 3 月	3 名	職場内研修

7 ボランティアの受入れ

平成 25 年度に制定した「ボランティア活用推進要綱」に沿って、ボランティアの利用を図っている。平成 30 年度は、練馬区を中心にボラティア活動をしている「練馬区交響楽団」による演奏会や女優で演歌歌手の山吹恭子さん、ご家族様参加によるショーなどを行った。

8 実習生の受け入れ

平成 25 年度に制定した「介護実習生等受け入れ要綱」に沿って、実習生の受け入れを図っている。平成 30 年度は、小学校および中学校教諭の教員免許状の取得を希望する学生を、介護等体験の実習生として、6 名を受け入れた。

9 職場体験事業希望者の受け入れ（主催：東京都福祉人材センター）

介護業務への就労を希望する者を施設に受け入れ、介護サービスや業務内容の理解を深め、介護職場への定着を図ることを目的とする職場体験事業について、実習生として、1 名を受け入れた。

10 福祉職場サポート業務希望者の受入れ（主催：東京都福祉人材センター）

主婦や高齢者等が対象で、施設での補助的業務（清掃、洗たく、配膳・下膳等）に関する就業体験を希望する者を、研修生として 1 名受け入れた。

11 インターンシップの受け入れ

介護業界、介護機器および福祉政策などに関心があり、自分なりの目的を持って主体的にプログラムに参加し、成長したいと考えている大学等の学生を受け入れている。平成 30 年度は、応募者がいなかった。

12 実績の見られた有効な介護ロボット

介護ロボットの導入によって、介護ロボットに関する研究事業に参加してきたが、実際に有効的な結果を示している介護ロボットは、次に示すものであった。

《表 5》

みさよはうす土支田で現在使用されている有効なロボット一覧

種類	会社	機種	配置数	利用数	備考
機能訓練	モリトー	POPO	2	1	
機能訓練	パナソニック	リショーン	1	1	
機能訓練	パナソニック	リショーン(旧型)	1	1	
コミュニケーション	富士ソフト	PARLO	2	1	
見守り支援	パラマウントベッド	眠り scan	16	16	未設置 4
排泄支援	アロマ化成	キューレット	2	2	

13 地域貢献（連携）

(1) 東京子育て応援事業

平成 28 年 9 月から、公益財団法人東京都福祉保健財団の助成を受けて、地域に対する社会貢献の一環として、「子ども食堂」を特養施設内で運営をしてきた。平成 29 年度は、6 月から「子ども食堂」と併せて、「そろばん教室」を開始し、平成 30 年度においても、4 月から平成 31 年 3 月までの期間、「子ども食堂」と「そろばん教室」は、つぎのように、実施された。尚、4 月からは、仮にはあるが、ボランティアとして、「こども英会話教室」がはじめられることになった。

- ① 原則として、毎月第二土曜日に開催
- ② 延参加者数は、59 名



(2) 環境美化活動

地域の美化活動に貢献するために、「みさよはうす土支田おそうじ隊」を結成して、練馬区の環境美化活動団体として登録している。

練馬区では、毎年5月と11月の最終日曜日は、区内一斉清掃事業日（ごみゼロデー）と定めていることから、施設でもこれに合わせて、年2回一斉清掃活動を行った。

- ・日 時 平成30年5月27日（日）
 平成30年11月25日（日）
- ・場 所 施設周辺

（特養 了）

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

1 はじめに

ショートステイは定員 2 名であるが、特養入所者の入院等による空室利用により、年間利用者数（延べ）は、男性 48 名、女性 81 名、合計 129 名で、前年度比 37 名増であった（別表 5）。

これは、ショートステイが介護支援専門員からの紹介を通して短期入所が決められるというルールから、みさよはうす土支田側からのアプローチ（営業）をかけたことによる新規獲得者数が上昇したことや介護支援専門員とのコミュニケーションをしっかりと取ったことなどが、主因として考え得る。

ショートステイ利用者の平均年齢は、男性 81.44 歳、女性 87.48 歳、全体 85.05 歳だった（別表 4）。また、要介護度の平均は、男性 3.1、女性 3.1、全体 3.1 であった（別表 6）。ショートステイの稼働率については、特養利用者が、疾病により入院した場合、その部屋をショートステイ利用希望者に活用していただくよう居宅介護支援事業所へ積極的に情報提供し、コミュニケーションを図り、空室を作らないよう有効活用を心掛けている。

ショートステイの年間利用率は、140.36%だった（別表 5）。

2 サービスの実施状況

(1) 事前面接調査と情報の共有

短期入所でも、その期間は快適な施設生活を送って頂くようにするため、医療処置の有無、日常生活の介護の方法、ご家族の要望等を事前面接で聞き取り、職員間の情報共有を図り、対応した。

(2) 施設までの送迎

ドア・ツ・ドアの送迎サービスを行った。

(3) その他

①入浴は、（月）（水）（金）の週 3 回実施。

②ショートステイ利用者のうち、長期間定期的に利用される方については、機能訓練指導員による個別機能訓練を実施した。

30 年度実績 延べ 325 人

③その他施設内のサービスは特養の利用者と同様とした。

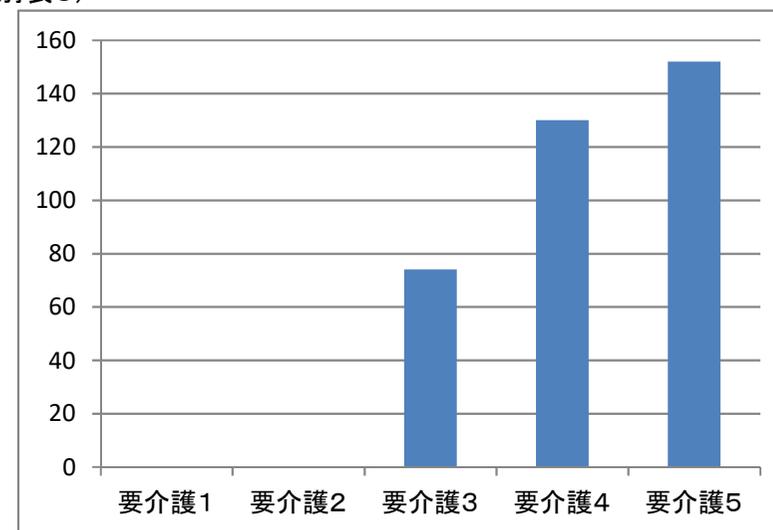
(了)

(別表1)

<年度末平均年齢>

	性別	人数	平均年齢	年齢分布
特養	男	1	91.1	88～94
	女	29	88.9	78～97
	(全体)	30	89.0	78～97

(別表3)



(別表2)

<月別利用者の状況>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養 (定員30名)	要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護3	8	7	7	7	6	5	6	5	5	6	6	6	74
	要介護4	10	10	10	10	11	11	11	12	12	12	11	10	130
	要介護5	12	12	13	13	13	13	13	13	13	12	12	13	152
	計	30	29	30	30	30	29	30	30	30	30	29	29	
	要介護平均	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2
	実人員	30	29	30	30	30	29	30	30	30	30	29	29	356
	延べ定員数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930	10,950
	1日平均利用者数	30.0	29.0	30.0	30.0	30.0	29.0	30.0	30.0	30.0	30.0	29.0	29.0	356
	稼働率	95.00%	96.67%	94.88%	95.70%	95.05%	94.00%	99.14%	95.11%	93.66%	93.23%	93.33%	95.38%	95.10%

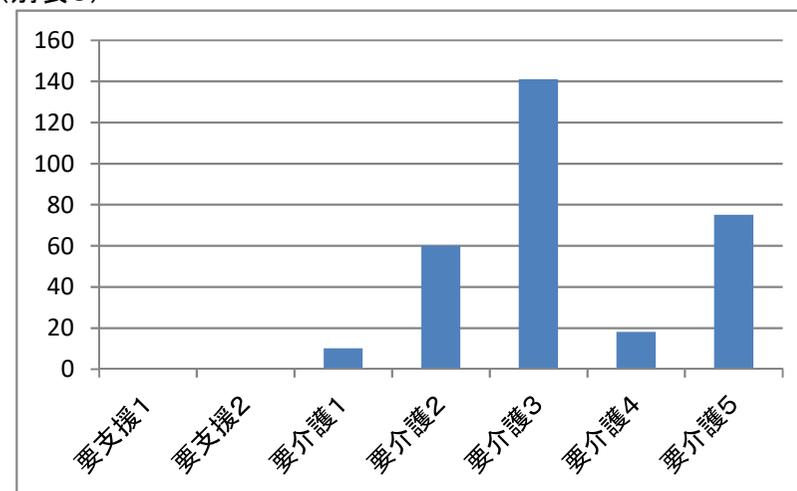
(注)本表では、在籍日数により算出しています。

平成30年度

(別表4) <年度末平均年齢>

	性別	人数	平均年齢	年齢分布
シヨートステイ (介護予防含む)	男	2	80.0	69~91
	女	9	88.2	77~94
	(全体)	11	86.7	69~94

(別表6)



(別表5) <月別利用者の状況>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
シヨートステイ (介護予防含む) (定員2名)	要支援1													
	要支援2													
	要介護1					1	1			3	2	2	1	10
	要介護2	10	6	4	4	6	4	4	4	6	6	4	2	60
	要介護3	12	6	9	6	9	9	15	12	12	12	18	21	141
	要介護4	8	8	12	8	4	8	8	8	20	8	8	8	18
	要介護5			15	20	10	10	5	10		5			75
	計	30	20	40	38	30	32	32	44	41	33	32	32	404
	要介護平均	2.7	2.8	3.5	3.8	3.1	3.2	3.3	3.4	2.9	2.8	2.8	3	3.1
	実人員	11	7	11	10	10	10	10	10	15	12	12	11	129
	延べ定員数	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730
	1日平均利用者数	1.0	0.6	1.3	1.2	1.0	1.1	1.0	1.5	1.3	1.1	1.1	1.0	1.1
	稼働率	163.30%	129.00%	153.30%	141.96%	161.29%	151.67%	70.97%	126.67%	117.74%	162.90%	157.14%	148.39%	140.36%

(注)本表では、退所日は日数には含んでいません。

平成30年度

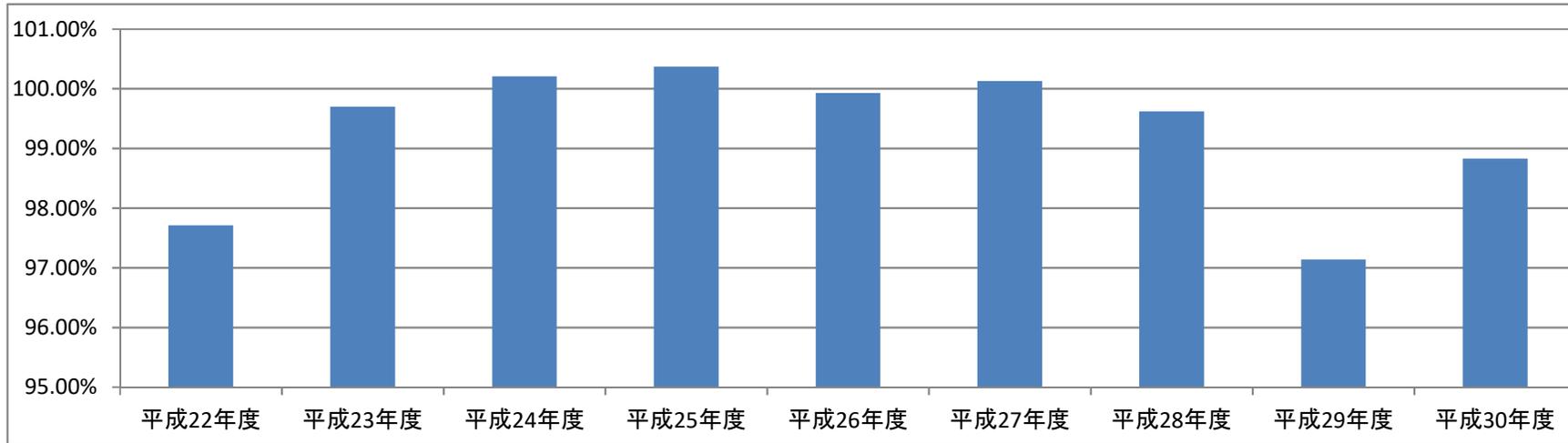
(別表7)

<月別稼働率>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養・ショート(定員32名)	特養	855	899	854	899	884	846	922	856	871	867	784	887	10424
	ショートステイ	111	80	92	88	100	102	54	76	89	117	104	106	1119
	計	966	979	946	987	984	948	976	932	960	984	888	993	11543
	延べ定員数	960	992	960	992	992	960	992	960	992	992	896	992	11680
	稼働率	100.63%	98.69%	98.54%	99.50%	99.19%	98.75%	98.39%	97.08%	96.77%	99.19%	99.11%	100.10%	98.83%

(注)本表では、実利用日数で算出しています。

(別表8)



稼働率	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	97.71%	99.70%	100.21%	100.37%	99.93%	100.13%	99.62%	97.14%	98.83%

平成30年度